

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		地域支援センターまなびや 保育所等訪問支援事業所すくすく				公表日	令和7年2月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
			○				
営 運	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童指導員1名・保育士1名・児発菅1名・非常勤保育士2名・その他1名		
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員会議等で目標と振り返りを行っている		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議等で学校等の意見や保護者等の意見を話し合っている		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議を毎週金曜日の午後に行っている。その都度意見やケース会議等を行っている		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者による外部評価は各学校の校長先生で構成されており、評価結果等を公表している		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内での研修、外部研修等を受講する機会を年間通して行っている		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		家庭訪問等を行ったり、家族の生活や生い立ち等も含めたアセスメントを行っている		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		学校でのケース会議を必ず行い、学校、保護者、事業所の職員で情報を共有しながら共通理解を深めている		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		計画作成する前には必ず保育園や学校でケース会議を設けて、関係者の意見や意向を取り入れている		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		具体的な支援内容が設定されており、学校、保護者からのサインも頂いている		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員会議等で共有している		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		訪問支援事前に打ち合わせを行い、朝礼等で報告をしている		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後は報告会を行い、振り返りや支援内容を共有している		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先には事前に見学に行って、学校や保育園の沿革や理念、方針等を必ず目を通し、パンフレットやホームページ等も見ながら全体把握を行っている		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		毎回記録を取り記録も共有し誰でも見れるようにしながら、検証、検討を行っている		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングはもちろん、保育園や学校へのモニタリングも行いながら適宜見直しを行っている		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発菅、保育士等、日頃から子どもたちに関わっている職員が参画している		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		場合によっては市役所、児童相談所などとも連携しながら支援を行っている		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就園、就学時移行の場合は保育園や学校でケース会議を行い、保護者関係者等の情報共有会を行っている		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		職員を外部研修に参加させたり、勉強会等にも参加させて助言を受けている		
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		市の子育て会議等に積極的に参加している		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎日の記録やラインやメールでのやりとりを保護者とは行いながら共通理解を持っている		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニング等家族が参加できる研修を検討しているが保護者の日程等がなかなか合わないことがあるので検討をしている	毎月週報に情報を載せたり、メール等でご案内しながら日程調整を行っている	

保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約と同時にその場で保護者には説明を行っている	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○	訪問先へは事前に電話で説明を行ったり、faxで内容を送っており、説明を行っている	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	計画作成前はケース会議を学校等で行い、保護者の意向も確認しながら計画作成をしている	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○	必ず保護者からはサインを頂いている	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○	定期的な面談や相談を受けており、メールやラインでも受け付けている	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	保護者会を開催しながら交流会、懇親会も設けている	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	業務用携帯で常に連絡を取りながら、職員と共有しながら対応を行っている	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	定期的に活動報告書を発行したり、SNSで活動内容等を発信している	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報の取り扱いについては事前に保護者に説明し同意を得てサインを頂いている	
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	家庭訪問を行ったり、紙ベースで手渡ししながら説明を行っている	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○	学校や子ども園等の先生方からの情報等に関しては情報共有しながら適切に支援を行っている	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○	実施後は記録を学校や子ども園に直接出向いて説明をおこない、必要な場合はケース会議を行っている	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○	訪問支援実施後は記録を基に情報共有を行っている	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報の取り扱いに関しては保護者から承諾書のサインを頂いている	
非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○	学校や子ども園の先生方とは常に情報共有を行いながら助言等を行っている	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	それぞれのマニュアルに関しては周知し、訓練等も実施している	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画の中にある必要な訓練等を実施しながら安全管理がしっかりとできているのか確認等を行っている	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○	ヒヤリハット報告書を基に再発防止の研修や定例職員会議等で検討している	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	虐待防止の研修等は適宜職員と研修を受けている	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	身体拘束については職員同士話し合い声かけしながら気を付けているが、基本身体拘束は行わないようにしている	